

平成28年度 第2回 広報公聴委員会 会議録

開催日	平成28年 7月 6日(水)
会議時間	午前10時00分 ~ 午前11時03分
開催場所	佐倉市議会 議会棟1階 第1委員会室
出席委員等	[委員長] 岡村 芳樹 [副委員長] 敷根 文裕 [委員] 徳永 由美子、木崎 俊行、山本 英司、平野 裕子、爲田 浩、五十嵐 智美、石渡 康郎
欠席委員等	なし
委員外議員	なし
説明のため出席した者の職氏名	なし
議会事務局	[次長] 橋口 庄二 [書記] 村上 一郎、宮崎 由美子、籠橋 千鶴子
協議事項	(1) 議会だより(6月定例会号)について (2) 議会報告会・意見交換会について

【決定事項】

(1) 議会だより(6月定例会号)について

- 本日提案したレイアウトに、指摘のあった点を調整し、発行に向けて準備を進める。
- 藤崎議員から要望のあった「？」の使用については、昨年度協議した結果、紙面の統一を図るために、使用はしないこととなった。今年度も同様の取扱いとする。

(2) 議会報告会・意見交換会について

- 意見交換会を開催する。日程は、11月4日(金)、5日(土)、6日(日)、8日(火)のいずれかとする。日程を含め、意見交換会の対象や方法等の意見を会派で取りまとめたうえで、次回の会議で協議する。
- 議会報告会については、広報公聴委員会で他市の事例を視察した上で、手法等の検討を行う。

【主な意見等】

(1) 議会だより(6月定例会号)について

(3頁 一般質問要旨・個人質問)

- 「？」を使用する必要はなく、文法的に「。」(句点)でよい。
 - 問の中でのことなので、「？」を使用しなくても、意味は通じる。
 - 紙面の統一を図ることは、形式美上必要なこともわかるが、議員本人の表現の自由を尊重すべきではないか。
- 議員本人が発行する広報紙で自由に表現すればよい。公に「佐倉市議会だより」として、議員の総意の元に発行するものについては、紙面の表記は統一をとるべきである。よって、昨年度の委員会での申し合わせのとおり、「？」の使用は今後もしないものとする。

(2) 議会報告会・意見交換会について

- 開催は11月とし、意見交換会の対象者の都合に合わせ、平日と休日、それぞれ候補日を考えておいた方がよい。
- 選挙権年齢の引き下げで18歳以上になったことから、若者に関連する団体はどうか。青少年健全育成のボランティアや団体等も考えられる。

- 佐倉市内の高等学校に議員が出向いて行き、出前授業のような形で、高校生との意見交換を行ってはどうか。
- 意見交換会の対象者等は、会派で協議する必要がある。
- 所沢市の議会報告会を視察した。議員が会派の主張を交えることなく、中立の立場で、議案の説明を行っていた。開催当初はまとまりがなかったものの、議員も市民も模索しながら回数を重ねていくうちに、理路整然と会が進むようになったとのことだった。佐倉市で行った議会報告会では、ある一定の方の独演会となってしまったとのことだが、所沢市の事例を参考に、今後、市民の意見を聞く場所は設けるべきではないか。
- 流山市では、各常任委員会に分かれ、分科会方式で行っていた。所沢市と同様、主だった議案を各議員が説明し、質問にも答えていた。その後、特にテーマはないようだったが、市民から意見を聞く場を設けていた。そういった場では、地域課題が見えてくる。
- テーマを設けて、意見交換会を行うことも有意義ではあるが、所沢市や流山市で行われているような議会報告会を開催することも必要である。
- 議会報告会の開催の有無についても、会派で協議する必要がある。
- 議会報告会を行うと仮定して、時期的には、2月定例会後、委員会の改選前までに行うしかないのではないか。
- 広報公聴委員会で、議会報告会の視察をした上で、佐倉市の議会報告会を考えてはどうか。
→次回までに、視察の候補地を挙げることとする。

【次回の開催について】

平成28年7月22日（金）午前10時から
「議会報告会・意見交換会について」

以上のとおり会議要録を作成し、ここに署名する。

委員長 岡村 芳樹